

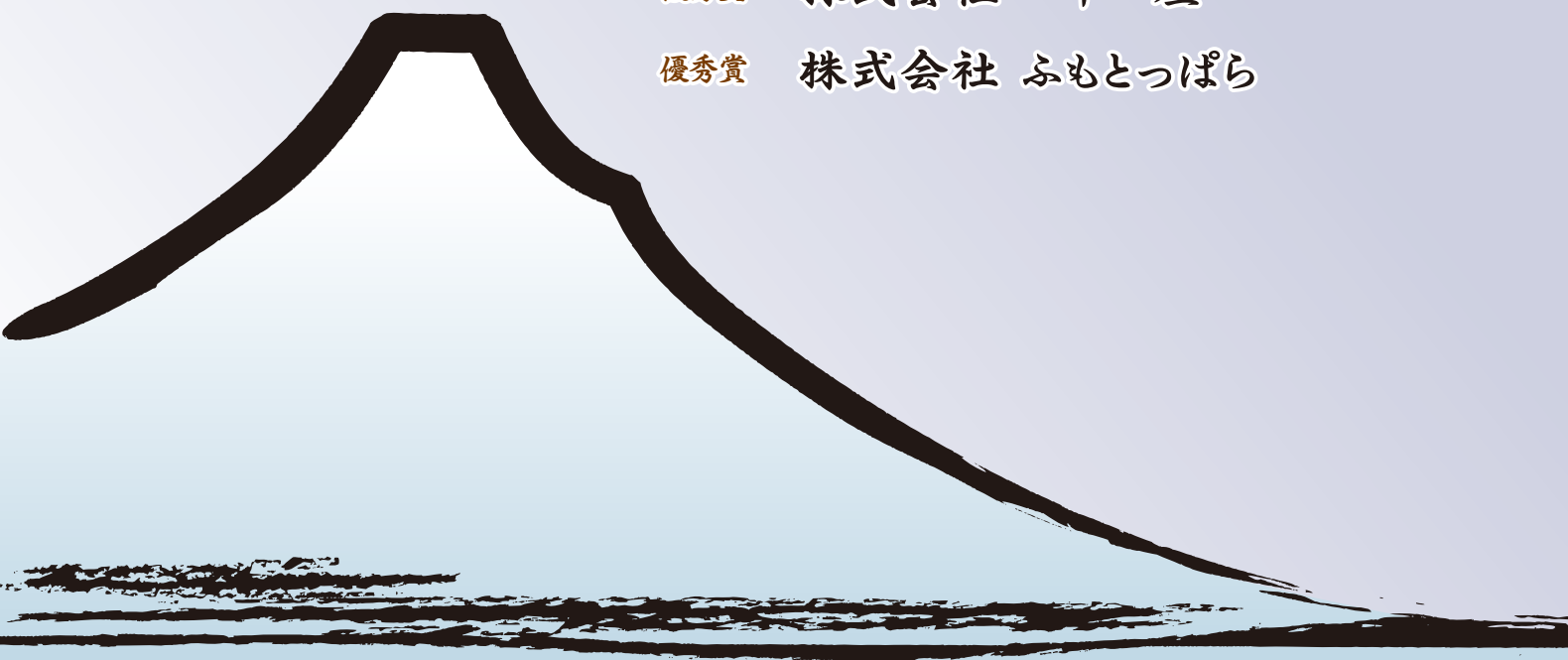
平成三十年度

第六回 富士宮市景観賞

最優秀賞 牧野酒造 合資会社 蔵

優秀賞 株式会社 叶 屋

優秀賞 株式会社 ふもとつぼら



富士宮市
平成30年8月3日

最優秀賞

牧野酒造 合資会社 蔵



所在地：富士宮市下条1037

酒蔵の土蔵・旧蔵は江戸時代後期から明治初期に建てられたもので、蔵と入り口の大きな木と焼杉材による黒塀が背景の富士山や周囲の景観と調和し、地域の歴史を感じる景観となっています。昨年、蔵の景観を保持するため、蔵の周囲を取り囲む黒塀の一部を焼杉材を使って修復しました。

10年程前から、富士山の雪景色の素晴らしい2月に「上野の里酒蔵めぐり」を開催しており、地元を始め遠方からも多くの方が訪れ、酒蔵と富士山の景観を楽しんでいます。

蔵と木と塀のある景観が地域の原風景になっており、その景観を維持する努力をされているところが高く評価されました。



優秀賞

株式会社 叶屋

所在地：富士宮市宝町15-16

昔の立宿、現福地地区の活気ある宿場町をイメージして店舗外観をデザインしています。

黒塀風の外壁と屋号をロゴ化したのれんや看板などが一体となり、趣のある外観を作り出すと共に、一枚の大きな看板としての役割も果たしています。

看板やのれんは、落ち着いた色合いを使用していますが、杉板を張った黒壁を背景にしていることにより、目を引くものになっています。また、看板の照明は、行灯をイメージした柔らかな光源を使用しています。

地域の歴史的な背景を踏まえたデザインと、建物の形の奇をてらうのではなく、シックにすることで、より広告効果を得られているところが高く評価されました。



優秀賞

株式会社 ふもとつばら

所在地：富士宮市麓156

朝霧高原にある自然体験休暇施設で、東京農業大学富士農場の研究施設であった牧草地を広大なキャンプ場（敷地面積25ha、東京ドーム約5.5個分）として、平成17年から運営しています。富士山の稜線に囲まれた風景に見渡す限り人工物がなく、そのロケーションから映画やテレビのロケ地などとしても活用されています。

自然の地形を活かしながら、無駄な人工物を造らず、池や木をバランスよく配した適切な管理により富士山を引き立たせる景観を創出しています。

地の利を十分に認識し、それを損なわず、適切に維持・管理している優れた見識が高く評価されました。



奨励賞

社会福祉法人 柿ノ木会 野中保育園 園舎 (現 野中こども園)

まちなみ・うるおい部門

所在地：富士宮市野中東町300

設計者：株式会社 環境デザイン研究所

平成29年2月に旧園舎を建替え、3つの分棟からなる新園舎棟を建設しました。

富士山や周辺のまちなみと調和するよう園舎を配置し、新園舎には木がふんだんに使用されており、親しみやすさがあります。保護者などが利用する駐車場と園庭が接することで開放性が高められ、こどもの遊び場となる中庭空間からは富士山を展望することができます。



奨励賞

神田川精霊流し

景観づくり活動部門

活動場所：富士宮市宮町1-1 神田川ふれあい広場、神田川

活動団体：神田川精霊流し実行委員会

活動開始年：平成23年～

東日本大震災があった年に、震災で亡くなった方の供養のために始めました。昭和40年代初期まで神田川で行われていた、先祖供養としてのお盆の精霊流しの慣習を復活させたものです。神田川の親水エリアから灯籠やエネルギーボール（小さなプラスチック容器にLEDを入れたもの）を流し、幻想的な光景が眺められます。また、昼間は市民による太鼓の演奏や高校生による書道のパフォーマンスなども行われています。



奨励賞

定年帰農集団 新鮮組

景観づくり活動部門

活動場所：富士宮市栗倉377、村山1545

活動団体：定年帰農集団 新鮮組

活動開始年：平成16年～

定年退職した約20名がグループで遊休農地を借りて、野菜の栽培や食農の普及、地域活性化を目指して様々な活動を行っています。市民ならば誰でも農体験ができ、畑からは育てた野菜と富士山の眺望が楽しめます。

また、野菜以外にもチューリップや梅、コスモス、キクイモなどを育てており、道路を通行する人の目を楽しませています。



特別賞

富士山本宮浅間大社 神田川ふれあい広場

静岡県景観賞優秀賞 (公共施設部門)

所在地：富士宮市宮町1-1

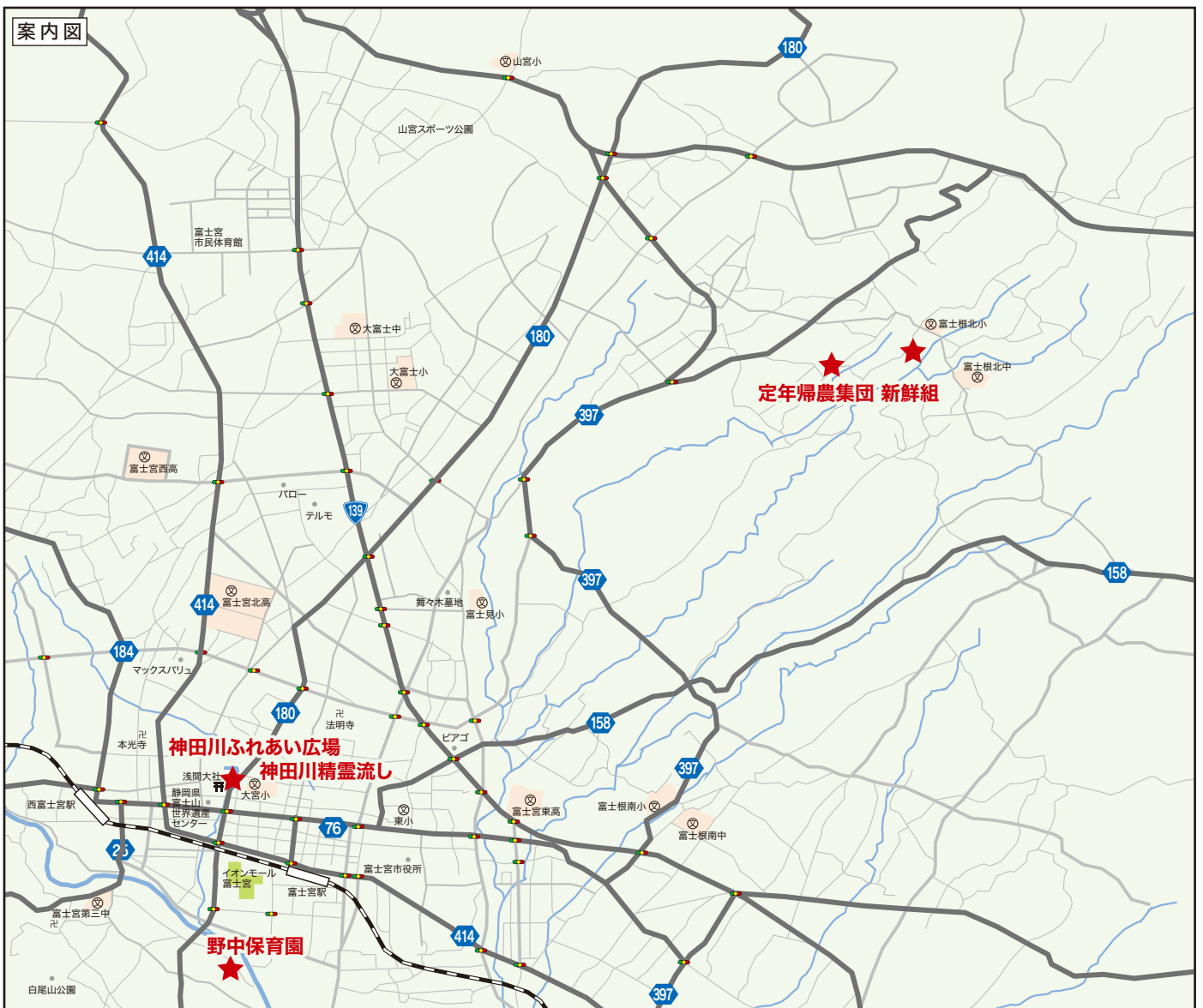
事業主体：富士宮市

設計者：富士設計株式会社、株式会社設計領域

平成28年4月にリニューアルオープンした市が整備した広場です。平成29年度第10回静岡県景観賞の公共施設部門で優秀賞を受賞しました。

富士山の湧水を引き込んだ親水池とそれを包みこむ芝生の築山、富士山を望む東屋という空間構成によって、訪れた人が自然と富士山に向き合うようにつくられています。

湧水を上手に引き込み、やすらぎのある空間として地域に親しまれている点が評価されました。



第6回 富士宮市景観賞について

概要

富士宮市景観賞は、優れた景観の形成に貢献しているまちなみ、建築物、屋外広告物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体を表彰し、その内容を広く公開することで、景観に対する市民意識を高め、本市の美しい景観づくりに寄与することを目的に、1年おきに開催しています。

募集対象

市内で優れた景観の形成に貢献しており、道路などの公共の場所から見ることができ、人が何らかの関わりを持って形成されているまちなみ、建築物、屋外広告物、広場、水辺、森林、農地等及び活動団体

募集部門

まちなみ・うろおい部門

- 歴史、文化を残しているまちなみや、地域の個性と魅力が活かされているまちなみ、背景となる山や川等と調和しているまちなみ
- 周囲の環境と調和して景観を引き立たせている建築物、新たな景観資源となるシンボリックな建築物
- 緑化や広場の創出、水辺、森林、里山、屋敷林や農地の活用・保全などで、水と緑、自然を活かした魅力的な景観をつくりだしているもの
- まちかどや集落の小空間を利用してうろおいを創出しているもの
- 周囲の環境と調和し、意匠・色彩・素材などの表現が優れた屋外広告物、工作物など

富士山部門

- 富士山を引き立たせる風景を創出して利用・管理されている農地や森林
- 富士山の景観と調和した建築物、屋外広告物など
- 富士山の景観を守り、育てていくための活動

景観づくり活動部門

- 良好な景観形成に寄与する活動や市民に親しまれているイベント、まちづくり活動などで、魅力的な景観を創り出しているもの又は景観上好ましくないものを取り除く活動

表彰基準

最優秀賞・優秀賞

特に優れているもの（対象の所有者等又は団体及び設計者）に対し、富士宮市長から「最優秀賞」「優秀賞」を授与します。（原則として最優秀賞1件、優秀賞2件）

奨励賞

「最優秀賞」「優秀賞」受賞地区以外で以下のいずれかに該当するものに対し、富士宮市景観審議会会長から奨励賞を授与します。

- ・5年以上活動を継続している又は今後の活動が期待できる団体等
- ・周辺との調和を図りつつも、固有の特性や持ち味を有する建造物の所有者等及び設計者
- ・市内の新たな景観を独自の視点で発掘した者

特別賞

富士宮市景観賞実施年の前年度及び前々年度の静岡県景観賞受賞地区に対し、富士宮市景観審議会会長から「特別賞」を授与します。ただし、最優秀賞及び優秀賞受賞地区を除きます。

※まちなみ等、表彰対象物の関係者が複数となる場合も総じて1件を表彰します。

審査

応募件数

6件（募集期間：平成30年1月9日～平成30年3月19日）

審査

平成30年度第1回富士宮市景観審議会（平成30年5月29日開催）において審査（現地調査）を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件、奨励賞3件と特別賞を決定しました。

審査委員

審査委員（富士宮市景観審議会委員） 委員名簿

委員長	天野 光一	日本大学工学部 教授	小松 實	富士宮建設業協同組合 理事長
	菅原由美子	菅原由美子観光計画研究所 主宰	小林 召二	富士宮緑化事業協働組合 理事
	大久保あかね	日本大学短期大学部 教授	川端 則貴	富士宮商店街連盟 副会長
	外記 省吾	写真家	石川 秀男	静岡県広告美術業協働組合 富士宮支部
	渡井 正二	郷土史研究者	隅蔵雄一郎	静岡国道事務所 所長
	石川 一廣	富士宮市区長会 会長	杉本 宏之	富士砂防事務所 所長
	木下 富之	富士宮市域自然調査研究会 会長	大石 俊一	富士土木事務所 所長
	渡邊 和彦	富士宮美術協会 事務局 所長	長谷川剛司	富士農林事務所 所長
	藤田 和也	一般社団法人富士建築士会 副主幹		

（順不同、敬称略、審査日時点）